

当社で働く65歳以上の『はたらくシニア約1000人』に聞いた 「敬老の日」と「シニアのワークスタイル」意識調査

**敬老の日の対象年齢は平均で「78.9歳から」と認識
約4割が2つ以上の仕事を組み合わせる「複業ワーカー」**

シニア人材と共にマンション管理員の代行業業を展開する株式会社うえるねす(本社:東京都新宿区代表取締役会長兼社長:下田雅美)では、平均年齢70歳・全国3,780名のパートナーが代務員※1として活躍しています。日本では働くシニアが930万人※2と過去最多となる中、当社で働く65歳以上のシニア1,042人(男性915名、女性127名)を対象にアンケートを行い、**はたらくシニアの「敬老の日」への意識と、ワークスタイル**について調査しました。

※1 当社代務員とは、管理会社の常勤管理員の休暇・退職などに伴い単発・長期で当該マンションの管理員として委託される代行管理員です。

※2 令和7年9月14日発表 総務省「統計からみた我が国の高齢者―「敬老の日」にちなんで

<https://www.stat.go.jp/data/topics/topi1460.html>



「敬老の日」にお祝いされる対象年齢は平均「78.9歳」 敬老の日にお祝いされることについて約40%が「素直に喜べない」と回答 その理由は？

2025年9月の総務省の発表※2によると、65歳以上の高齢者は推計で3619万人と前年に比べて5万人減少した一方、働く高齢者は21年連続で増加し930万人と過去最多となっています。働く高齢者は、「敬老の日」をどのように捉えているのでしょうか。

うえるねすで働く有職高齢者に実施した今回のアンケート調査では、「敬老の日にお祝いされる年齢は何歳くらいからと認識しているか」という質問に対しては、80～84歳と答えた人が最も多く(29.9%)、次いで75～79歳(20.1%)、70～74歳(17.3%)で、平均は78.9歳という結果になりました。仕事を持つ高齢者の多くは、後期高齢者を超えてようやく、「敬老の日」を祝ってもらう年齢になると認識していることがわかりました。

また、「敬老の日にお祝いされたいか」という質問に対し、「お祝いされたくない」と答えた人が18%、「あまりお祝いされたくない」が22%と、約4割がお祝いを素直に喜べないと感じていることがわかりました。その理由としては、お年寄り扱いされたくないという抵抗感や、「まだ自分は若いと自負している」「年齢を考えたくない」など、自覚と実年齢にギャップを感じている回答が多くみられました。「どちらとも言えない」という回答も約4割あり、「祝ってくれるのはうれしいけれど高齢者と自覚してしまう」という複雑な心境が見えました。

当社で働くシニアの約4割が2つ以上の仕事を組み合わせる「複業ワーカー」

うえるねすでの仕事以外にも仕事をしているかを質問したところ、約4割(39%)が2つ以上の仕事を組み合わせていると回答しました。どのような仕事を組み合わせているかも質問したところ、同じマンション管理員業に携わる方が最も多かったですが、コンサルティングやIT業務を本業として「机に向かう仕事と体を動かす仕事でバランスをとっている」人、子どもたちの支援業務・教育関係など「社会貢献に携わる仕事」に従事する人なども多くいました。自分にあった仕事を組み合わせ、社会参画で生きがいをもち、健康を維持し、得たお金で生活を充実させるシニアの姿がみえてきました。

調査結果の詳細は、次ページ以降をご参照ください。

<報道関係者様のお問い合わせ先>

株式会社オズマピーアール 福村・岡部 TEL:06-6205-9800

MAIL:fukumura@ozma.co.jp, rika.okabe@ozma.co.jp

株式会社うえるねす 広報室 下田・金沢 TEL:03-5990-5059

MAIL:wellness_press@wellness-support.co.jp

意識調査概要

調査日	2025年8月
回答者	株式会社うえるねす(下記会社概要参照)に登録し、代務員として働くシニアの方々
回答者年齢	65歳～90歳
回答者数	1,042名 - 男性915名 (65～69歳 131名/70～74歳 318名/75～79歳 343名/80～84歳 114名/85～89歳 8名/90歳 1名) - 女性127名 (65～69歳 30名/70～74歳 49名/75～79歳 41名/80～84歳 6名/85～89歳 1名)
回答者居住地	北海道・関東・中部・関西・中国・九州 エリア
アンケート手法	うえるねすの業務で使用する、スマートフォンアプリにてアンケートを配信

【平均年齢70歳・全国約3780名のシニアが活躍中】うえるねすの「マンション管理員代行」の仕事とシニア能力開発・働きがいを生む工夫

「マンション管理員代行」の仕事とは

近年マンション需要は高まる一方、マンション管理員の不足が課題となっています。マンション管理員代行は、休暇や退職に伴い管理員を必要とする全国各地のマンションに代務員を送り、マンション管理員の代行業務を担う仕事です。うえるねすでは、年齢や経験を問わずに代務員を募集しており、現在、全国で多数のシニアの方に代務員として活躍していただき、業界内では最大手企業となりました。

自分のペースで働けるシフト設計

代務員の方々には、うえるねす専用スマートフォンアプリを通じて案件の依頼を行い、承諾いただき次第、該当のマンションでの業務を担当していただきます。事前に代務員からの要望(希望勤務時間・休み・通勤可能エリア)をヒアリングした上でお仕事を案内するので、無理なく自分の希望で働くことができます。(就業形態は業務委託契約)

スマホ×リアル研修の両方で、代務員のスキルアップをサポート

うえるねすの業務ではスマートフォンが必須です。登録当初、スマホが全く使えないシニアの方にも使い方をお教えします。また、業務に必要な知識は、リアルの研修(登録時および約3か月後のフォロー研修、年1回のうえるねすシップ、年2回のエリア会)をはじめ、スマートフォンアプリにあるeラーニングでも学ぶことができ、反復学習を行うことで知識や技術の定着を図っています。



【株式会社うえるねす 会社概要】

- 設立 2002年2月
- 資本金 1800万円
- 代表者 代表取締役 下田 雅美
- 事業内容 全国2000社のマンション管理会社向け管理員代行業および管理員研修事業など
- 本社 東京都新宿区西新宿1-8-1 新宿ビルディング
- 支店 札幌支店、新宿支店、町田支店、横浜支店、川崎支店、大宮支店、錦糸町支店、名古屋支店、関西支店、神戸支店、福岡支店・福岡オフィス
- URL <https://wellness-support.net>



① はたらくシニア「敬老の日」に関する意識調査

Q/「敬老の日」にお祝いされたいと思いますか？ (N=979)

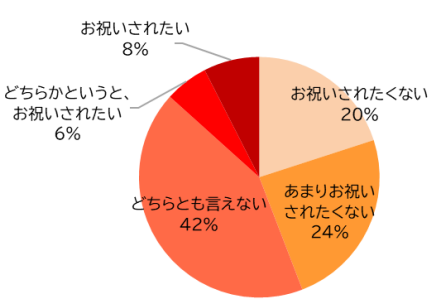
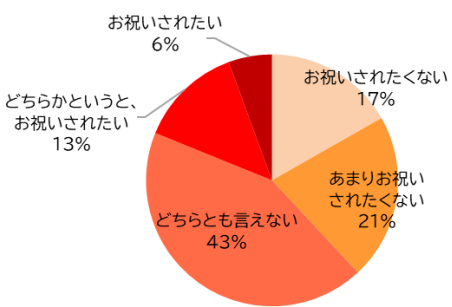
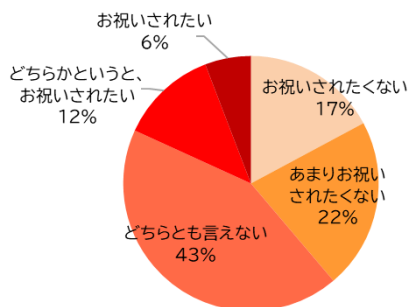
「お祝いされたくない」「あまりお祝いされたくない」と回答した人は合計で39%、「どちらとも言えない」と回答した人は43%という結果になりました。

お祝いされたくない理由としては、年齢にしばられず若々しくありたいという想いと、祝われることへの抵抗感がありました。また、お祝いされたい理由としては、人生や健康の評価となること、地域や家族とのつながりを感じられることが多くみられました。どちらとも言えない理由としては、「うれしい反面、老いを実感してしまう」という複雑な気持ちと、敬老の日が形式的になってきているという価値観の変化が挙げられました。

全体(979名)

男性(859名)

女性(120名)



【お祝いされたくない理由】

- ・ お祝いをしてあげる側にいたい
- ・ 老人と意識したくない
- ・ まだ現役なので
- ・ 急に老け込むようになる
- ・ 高齢だからと祝うのには抵抗がある

【どちらとも言えない理由】

- ・ 自分より先輩が大勢いるので
- ・ お祝いはうれしいが、老人とは思いたくない
- ・ 祝ってくれる人の気持ち次第
- ・ いくつかから敬老なのかわからない

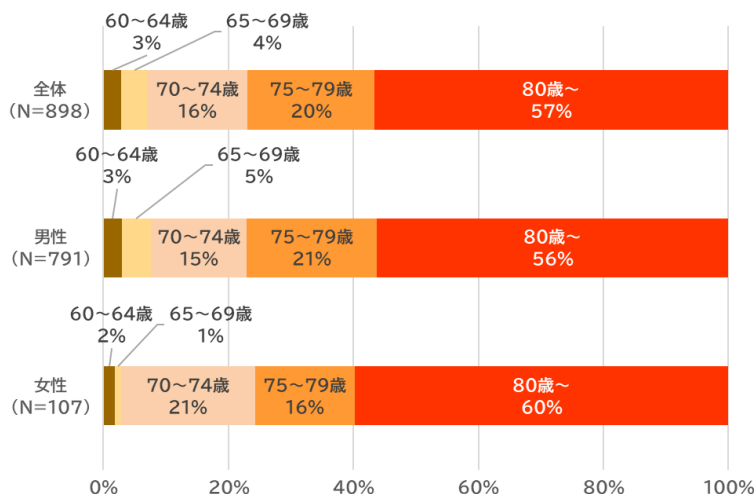
【お祝いされたい理由】

- ・ お祝いされるとうれしい
- ・ 子どもたち一家と集まる機会
- ・ 町内会・地域での交流の機会
- ・ シニアに視線が向くのはよいことだ
- ・ 国民的行事だから

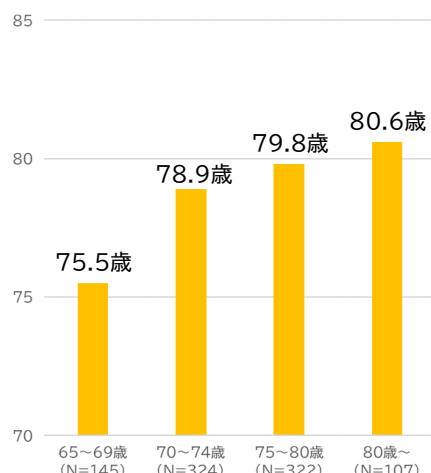
Q/「敬老の日」にお祝いされる年齢は何歳くらいからと認識していますか？ (N=898)

敬老の日にお祝いされる年齢は、全体平均としては、**78.9歳**からと認識しているという結果になりました。60代で「お祝いされる」と考える人はわずか7%にとどまっています。年代別に見ると、年齢を重ねるにつれてお祝いされる年齢の回答平均が向上しています。最も多かった意見は「仕事を引退してから」、次いで「そもそも敬老の日は必要ない」「年齢はあまり意識していない」、他には「年寄り扱いされたくない」など、年齢にしばられない意識の強まりが見られました。

<全体の回答割合と男女別の回答一覧>



<横軸=現在の年代、縦軸=各年代の回答平均>



② はたらくシニア「ワークスタイル」に関する意識調査

Q/うえるねすで働いている一番大きな目的は何ですか？(N=1040)

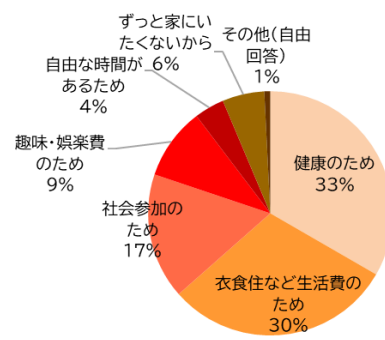
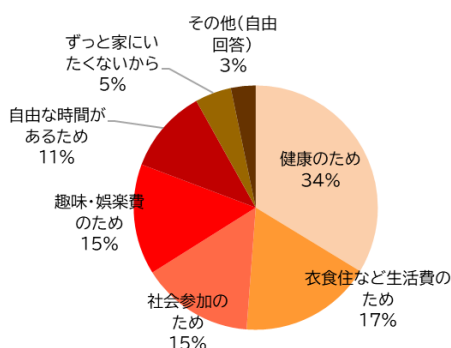
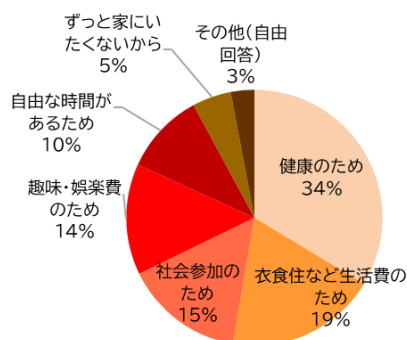
「健康のため」(34%)と答えたシニアが最も多く、「衣食住など生活費のため」(19%)、「社会参加のため」(15%)、「趣味・娯楽費のため」(14%)と続きます。シニアにとって「働くこと」は、経済的な理由だけでなく、健康維持や社会参加、生きがいの実現といった多面的な価値を持っていることが明らかになりました。

また、男女別でみると、男性は「趣味・娯楽費のため」と答える割合(男性15%>女性9%)と、「自由な時間があるため」と答える割合(男性11%>女性4%)が高く、逆に女性は「衣食住など生活費のため」と答える割合(男性17%<女性30%)が高いという結果になりました。

全体(1040名)

男性(914名)

女性(126名)

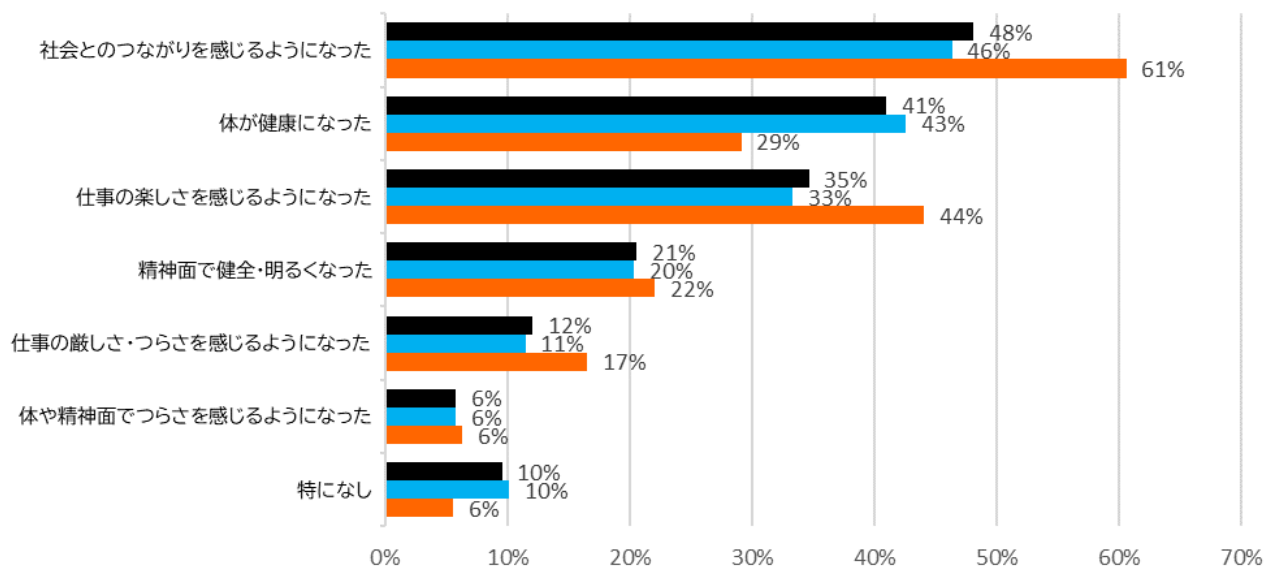


Q/うえるねすの仕事をはじめてから、どのような変化がありましたか？(複数回答可)
(N=1035)

「社会とのつながりを感じるようになった」(48%)という回答が最も多く、「体が健康になった」(41%)、「仕事の楽しさを感じるようになった」(35%)、「精神面で健全・明るくなった」(21%)と続きます。住人とのコミュニケーションが重要であるマンションの管理業を通じて社会参加を実感している働き手が多いことが分かります。

男女別にみると、女性は「社会とのつながりを感じるようになった」と答えた割合(男性46%<女性61%)と「仕事の楽しさを感じるようになった」と答えた割合(男性33%<女性44%)が高いことが分かりました。

全体(1035名) 男性(908名) 女性(127名)



Q/うえるねすで仕事を始めた時、
何歳まで働く予定でしたか？
(何歳まで働けると思っていましたか？)

(N=1001)男性878名・女性123名

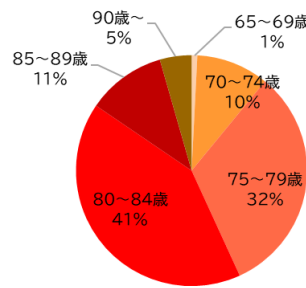


Q/これから先
何歳まで働こうと思いますか？
(何歳まで働けると思いますか？)

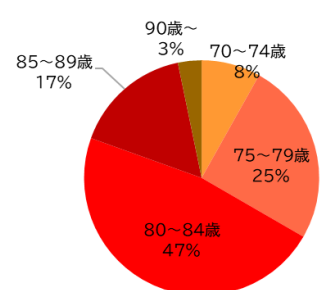
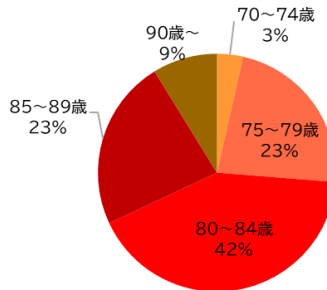
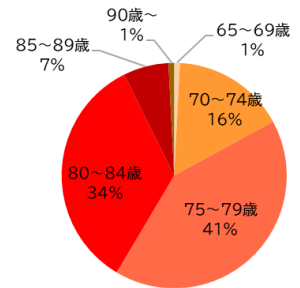
(N=999)男性876名・女性123名

仕事を始めたときは平均78.5歳(男性78.7歳、女性77.7歳)でしたが、現在は平均81.1歳(男性81.3歳、女性79.7歳)に。うえるねすで仕事を始めてから自信が付き、自分の働ける年齢が2.6歳もアップしています。

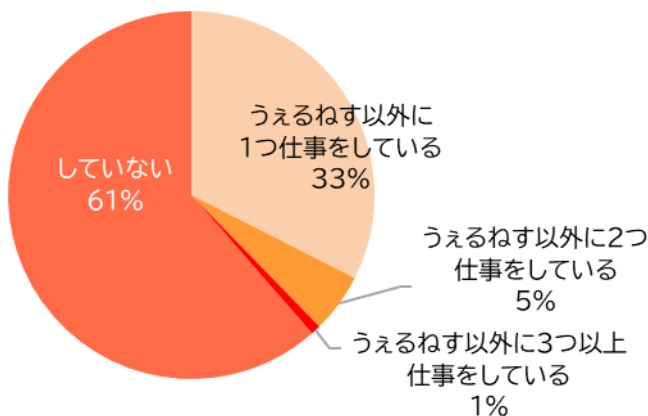
男性



女性



Q/うえるねす以外でも仕事をしていますか？ (N=1035)



39%の回答者がうえるねす以外の仕事も行っている「複業ワーカー」という結果が出ました。うえるねすを含めて3つの仕事を組み合わせているトリプルワーカーは「5%」、4つ以上の仕事を組み合わせている回答者も「1%」存在しました。

複業を行う理由も聞いたところ、おもに「社会との繋がりや貢献／収入増／趣味や生活費確保／収入を目的とせず生きがいのため／空き時間の有効活用」などの回答が寄せられました。

Q/(複業をしている回答者を対象に)うえるねす以外にどのようなお仕事をされていますか？

複業している仕事の分類	回答数
施設・設備管理・清掃	186
自営・専門職	84
教育・スポーツ	34
配達・送迎	26
事務	16
販売	15
不動産・賃貸	9
その他	99

うえるねす以外に仕事をしている回答者に、どのような仕事をしているかを聞いたところ、うえるねすと同業種の「施設・設備管理・清掃」が最も多い結果となりました。次いで「自営・専門職」「教育・スポーツ」と続きます。「本業ではPCに向き合うデスクワークをしているため、身体を動かす仕事を選んでいる」といった健康面のバランスを意識した回答や、子どもの見守り・児童教室に携わる回答も見られました。社会貢献の意識が高く、できるだけ身体を動かしたいアクティブなシニアの姿が見えます。

